

海水浴場等の入込状況について

昨年度の梅雨明けの遅れとはうって変わり、7月は好天に恵まれ、市内の海水浴場・市営プールなどの入込客は増加しています。

静波海水浴場は6月30日、さがらサンビーチは7月1日にオープン、B & G海洋センタープールは7月1日、市営地頭方シーサイドプールは7月24日に営業を開始しました。

小中学校が夏休みとなる7月半ばごろから客の出足も伸びており、例年どおりの賑わいとなっている。

記

1 入込状況

(1) 市営海水浴場駐車場駐車台数（普通車 / 7月25日現在）

- ・静波 4,852台（昨年：4,088台） 前年比118.7%
- ・さがら 1,645台（昨年：1,179台） 前年比139.5%
- ・市全体 6,497台（昨年：5,267台） 前年比123.4%

(2) B & G海洋センタープール入場者数（7月1日から7月28日まで）

- ・22年度 2,551人（前年比132.2%）
- ・21年度 1,930人

(3) 市営地頭方シーサイドプール入場者数

- ・22年度 377人（7/24は無料。7/25のみの入場者数）
- ・21年度 230人（7/26入場者数）

2 概要

- (1) 海水浴場駐車台数からみると、市全体として2割近いアップとなっている。
- (2) シーズン開始の3連休中（海の日）は、海水浴場内でのさまざまなイベント開催により入り込みがアップし、特に静波海水浴場においては、3万人の入込客であった。
- (3) 観光協会より、宿泊状況については例年並と聞いており、天候が良いこともあり、今後の伸びが期待できる。

3 今後の期待と対処

- (1) 7月に続き、8月の好天を期待するとともに、高速料金割引による山梨、長野、名古屋方面などからの客を期待する。
- (2) 昨年のような災害が無ければ、観光客の増加が見込め、台風などの天候不順のないことを祈る。
- (3) 山梨・長野からの観光客は、現地のより詳細な天候情報を得て出かけてくるため、これに対応するため静波海水浴場に設置されたライブカメラが今年から「動画」にバージョンアップされ、詳細な状況が確認できるようになった。